

大学の授業料こそ無償化を

私は大学の授業料を無償にしてほしいと思います。無償にすることで経済的な理由で大学に行きたくても諦めている人が減ると思います。大学は、自分の興味のある専門的分野を、より深く学べる場所であり、誰もがお金の問題を気にしないで済む環境をつくってほしいです。

中学や高校などは、大学で専門的に学ぶための基礎

高校生 今井そよ香 18

力があるのに、経済的な理由など家庭の事情で大学に進学できない人がたくさんいると思います。そのような人たちにも、授業料を気にせず、大学に行ってもらい、

夏休みに島根県にある父の実家へ、父と2人で行った。5日間滞在し、図書館

学びたい意思があるのに、もかかわらず、学ぶことができない人がいるという状況は、今すぐにも解決しなければいけないと思います。(大阪府東大阪市)

地方の高齢者に車は不可欠

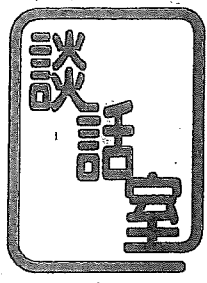
中学生 山城明莉 15

で勉強したり、体育館で運動したり、おいしいものを食べたりと、充実した時間を過ごすことができました。

ただ、一ツ気になることがあった。それはどこへ行くにも車が必要なことだ。道幅は広く、車の数も多くないので東京よりも走りやすいのだが、商店や施設がかたまっておらず、どこへ行くにも遠いのである。

バスもあまり目にするものがなく、電車も1時間に1本程度しか走っていないので、車なしでは生活が不便なのだ。80代半ばの祖父もいまだにハンドルを握っている。

昨今は高齢者の運転ミスによる交通事故が多発し、運転免許証の自主返納が推奨されている。しかし、地方では高齢者に車のない生活を求めるのは酷だ。もし、高齢者の免許証返納をいっそう推進するのであれば、移動手段の整備も同時に進めなくてはならないと思う。(東京都世田谷区)



祭りくじに注意して楽しんで

夏祭りに、屋台のくじ引きは欠かせません。でもくじ引きで1等賞が当たることはほとんどないのでは、と思うのです。

特にゲーム機が当たるとくじ引きでは、店頭から豪華な景品がなくなっているところを見たことがあります。実際に「ユーチュー

中学生 加納史悠 14

「プ」で人気の動画投稿者が、ある祭りのくじ引きで10万円以上も使っても、当たりくじが出なかったそうです。

本来のくじ引きは、子供たちにとって「もしかしたら1等賞の景品が当たる」という夢を与えるものであ



金子真奈 15 (福岡県粕屋町 中学生)

もし万が一、大人のせい

で楽しくないくじ引き(当たりでないくじ)になっているのなら、とても残念です。お金を稼ぎたい気持ちも分かるけど、「当たりなし」はダメだと思えます。

もちろん子供たちも、そういうくじ引き業者もいるかもしれないので、気を付けて祭りを楽しんでほしいです。

(兵庫県西宮市)



瀬川美咲 18 (大阪府東大阪市 専門学校生)

「元気」の大切さを忘れずに

中学生 成田将士 13

中学に入学して半年がたちました。この間に学んだことで一番大きいのは、「元気」の大切さです。

小学生のころは、「みんなの前ではなるべく元気そうにみせていれればいいや」といった程度にしか考えておらず、表の顔と裏の顔に差がありました。でも、今は違います。今は本当の元気をみんなの前で発散させています。

自分が変わったのは、担任の先生のおかげです。先生は校舎内で会ったりすると、いつも元気に「おはよう」などと気持ちのこもった声であいさつをしてくれます。それを聞くと私も元気になります。元気が出てくると、その日一日、何事にも頑張ろうという気持ちになれます。

だから、自分が元気になり、周りの人を元気にするためにも、私はまず、気持ちのこもった元気なあいさつを心がけています。このことは2年生になっても3年生になっても、いや一生忘れずに生きていきたいです。(東京都立川市)

キラキラネームで大丈夫？

テレビ番組で以前、キラキラネームという読むのが難しい変わった名前が取り上げられていました。

私が一番驚いた名前は「黄熊」です。くまのプーさんの「うー」と読むのです。他にも「光宙(ピカチユウ)」、「姫星(キテイ)」などキラキラネームの名前がありました。

「こんな名前をつける親がいるのだ」と、疑問を持ちながら番組を見ていま

中学生 渡部美桜希 14

このような名前をつけるのも、親にはそれなりの理由があるはずです。でも大半は「かわいいうから」という理由だと思います。

確かにかわいらしい名前と感ずることもありますが、かわいいうと思えるのは、小さく幼いときだけで、社会に出たとき、恥ずかしいと思つのは子供本人だと思えます。

自分の大事な子供の名前

なのだから、ちゃんとした由来や子供への愛情を込めた命名が大切。本人の将来に考えてほしいです。

(大阪府守口市)

「ひこばえ倶楽部」投稿を募集

毎週月曜掲載の「ひこばえ倶楽部」では、25歳以下の社会人や大学生、小・中・高校生のみならずからの投稿をお待ちしています。学校単位のみならず、イラストも大歓迎です。

投稿は「ひこばえ倶楽部」と明記して、郵送の場合には〒556-8661 産経新聞大阪本社投書係。FAXは06-66333-1275。Eメールは添付形式にせよ opinion@sankei.co.jpへ。

氏名(ペンネーム)、匿名は原則不可)、年齢、職業(学年)、郵便番号、住所、電話番号を明記してください。採用された方には図書カードを進呈します。

子供達の素晴らしい意見を活かしたいものです。